



うえにし こういち
榎西 浩一 議員



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

地域課題解決型のスタート アップ企業を誘致できないか

村中町長

町内外の企業の協力を依頼していくか
を含め対応策を検討する

■質問・榎西議員
まちづくりの困りごとを解決するためには、地域内の様々な組み合わせでの解決にこだわるのではなく、どこからでも技術を持ち込んでもらうことが大切です。現在行われている調査も含めて、どのような解決策を考えているのか伺います。

■答弁・村中町長
外部から、様々な事業に精通した企業や個人に集まっていたことは、地域や事業者の課題を解決するための一つの手段であり、そのような機会を持つことで、本町の新たな魅力も発見できる可能性もあると考えます。

また、今年度、包括連携協定を締結した旭川市立大学さんに良佳村観光施設の町内への経済波及効果について調査を依頼しています。調査結果の中で示された課題等について、町内外の企業の協力を依頼していくかを含めて、対応策を検討します。

■榎西議員 ブレインストーミング会議形式で意見をたくさん出してもらえば、アイデアが出てくると思いますが、考えを伺います。

■村中町長 同じメンバーで新たな発想はなかなか生まれなと思いますので、様々な方の意見を伺う場面は大切だと思います。話題づく



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

地域と共存する再生可能 エネルギー事業について

村中町長

町民のみなさまからのご意見を伺い
必要な取り組みについて研究する

■質問・谷口議員
近年では、各地で再生可能エネルギー施設が増える一方、自然破壊や美しい景観が失われるという問題が起きています。私は、この事業を全否定するものではありません。豊かな自然環境は、住民のいのちや暮らしを支える基盤であり、この恵みを将来にわたり引き継いでいくことが重要です。道は事業者に対しガイドラインのポイントとして「法令・条例での必要な措置や手続きについて自治体や国に確認、相談の上、遵守すること」「計画の初期段階から地域住民と適切なコミュニケーションを図り、事業実施に努めること」などを挙げています。

これらのことを踏まえ、町として再生可能エネルギー事業について条例を検討、制定する考えがあるか伺います。

■答弁・村中町長
本町に適した脱炭素推進を図るために、長期的に連携していただける脱炭素推進パートナー事業者を募集しているところです。事業者の選定にあたっては、専門的な知見を基に、条例やガイドライン制定も含めた総合的な支援が可能な事業者を想定しています。

■谷口議員 比布町として、どういった形で進んでいくのか示していただければと思います。



たにぐち ひろまさ
谷口 雅浩 議員

■村中町長 町として町民の皆さまのご意見もお伺いしなければいけません。この風景を守りたいけれども、地球温暖化は防がなければいけない。それぞれのご意見をお伺いしながら、着地点を見つけていければと思います。

カムイミントラDMOとの今後

■谷口議員 令和7年度の町政執行方針によりますと、「良佳村エリアは中心的な施設であり、びっぷろスキー場については札幌圏や北見圏からの誘客や大雪カムイミントラDMOとの連携によるインバウンドの取り組みを積極的に行ってまいります」とありますが、カムイミントラDMOとして観光客誘致を今後どのように取り組んでいくのか伺います。

■村中町長 DMOを通じてスキー場や遊湯びっぷを中心にアンケート調査の協力や圏域スタンプラリーへの参加、旭川市内の宿泊施設からの送迎支援やリフト券委託販売などの取り組みを進め、現在も一定の成果があるところですが、特にインバウンドに関係する事業については、DMOや近隣市町と広域的に連携して様々な事業を進めていくことで、観光客数の増加や新たな商品開発につながる

若者の成育環境の機能強化を

■榎西議員 将来に迷っている若者のために、浦幌スタイルのように、行政機能として何らかの形で教育環境、子育て環境、そして大人になっていく成育環境に責任を持って取り組むことはできないか伺います。

■村中町長 若い方々の成育環境機能の強化には、行政が環境整備をしつつ、学校教育以外でのキャリア教育にどのように関与し、推進していくかが重要であると認識しています。

浦幌町では義務教育を終えた若者たちと地域の繋がりを支援するとともに、社会人になったあともUターン者の受け皿となる事業の

ものと考えており、組織を構成する一員として、今後も積極的に関わってまいります。

■谷口議員 「比布町はとても受け入れが良かったよ」という口コミが大事だと思います。

■村中町長 英語表記の看板やホームページなど、来ていただいた方が満足していただけるように少しずつ対応を強化したいと思っています。

■谷口議員 外国人にとっては、珍しく、魅力的なものもあります。まだ発掘ができていない部分について、外国人にアンケート調査をしてみたいかがでしょうか。

また、今後の受け入れ体制について、空港からバスやJRを利用して、空港からバスやJRを利用して、あるいは空港まで迎えに行くのか、二次交通の使いやすさも検討する必要があると思います。

■村中町長 日本人の日常を求めて観光に来られる方が増えていることもアンケートでわかっています。二次交通についてはDMOでも課題になっており、旭川空港はJRが繋がっていません。

旭川市内のホテルにも協力をいただいております。道北バスを使えばびっぷスキー場に来ていただいている外国人が増えている状況です。

創出や、将来町内で起業や創業などを実現できる環境づくりを進めているようです。

本町では義務教育学校をスタートし、子どもたちが9年間で様々な経験や体験を通して一人一人の個性を伸ばし、自己実現できる資質や能力を形成することにより、義務教育修了後の社会で生きていくために必要な力を身につける場としても位置付けています。

義務教育学校による教育環境の効果をより高める環境整備については、これまで学校支援地域本部が中心となり、学校と地域の調整を図ってきましたが、今後は、比布町で培われてきた産業や文化、観光などの地域資源の掘り起こしによる体験機会の拡充なども検討します。

若い方々が将来設計を考えるうえで、生まれ育った地域で生活することが選択肢の一つとなるために、地域住民が自らの地域に誇りと愛着をもち、地域社会へ参画するシビックプライドの醸成にも努めます。

※ブレインストーミング会議形式
複数人で意見やアイデアを自由に出し合う会議手法